

(取材案内)
(経済同時)



令和2年3月16日
京 都 市



UNITED NATIONS
UNIVERSITY



京都市
CITY OF KYOTO

担当：総合企画局総合政策室
(SDGs・レジリエンス戦略担当)
電話：222-3379

国際連合大学と京都市による社会的課題の解決に向けた協働プロジェクトに係る 協定締結式について

～京都を舞台としたSDGsの実現に向けた社会実装研究事業～

国際連合大学（国連大学）及び京都市では、世界に先駆けた持続可能な開発目標（SDGs）の達成に寄与する社会実装の研究を、民間企業等と連携しつつ、京都を舞台に協働して進めていくため、協定を締結します。

つきましては、下記のとおり協定締結式を行いますので、この機会に是非、取材いただくよう御案内申し上げます。

※ 国連大学

国連大学は、地球規模の課題解決のために設立された国連のシンクタンクおよび学術機関。日本に唯一本部を置く国連機関として1975年から活動を開始。世界12箇国にまたがる14の研究所において、水やサステイナビリティ、経済開発、ジェンダーなど全てのSDGsに関する研究、政策提言と教育に取り組んでいる。

記

1 日 時 令和2年3月19日（木）午後3時～午後5時

2 場 所 京都ホテルオークラ 翠雲

3 出席者 国連大学 デイビッド・マローン 学長
京都市長 門川 大作 他

4 次 第

- (1) 出席者紹介、趣旨説明
- (2) 協定書の締結・署名
- (3) 写真撮影
- (4) 挨拶（国連大学 デイビッド・マローン 学長、京都市長 門川大作）
- (5) 質疑応答
- (6) 講演（国連大学 デイビッド・マローン 学長、Dari K株式会社 吉野 慶一 代表取締役）

（裏面へ続く）

5 協定の目的 ※別添「京都市と国連大学の連携」を参照

京都市が抱える社会的課題について、世界に先駆けて京都市と国連大学SDG企業戦略フォーラムが協力して解決を目指し、その取り組みを国内外に展開することを通じて、SDGsの達成に寄与することを目的とする。

6 協定の主な内容

- (1) 京都市の役割（具体的課題の提示、課題解決に向けた実証の機会の提供及び関係各機関の調整等）
- (2) 国連大学の役割（国連大学SDG企業戦略フォーラム又は同フォーラムの参加企業を通して、京都市の提示する社会的課題について、京都市とともに解決方法を協議し、必要に応じて具体的解決策を実施）
- (3) 協定の有効期間に関すること
- (4) その他、両者の協議により必要と認める事項に関すること

7 連携先（予定）

- (1) 国連大学SDG企業戦略フォーラム
 - (2) 本プロジェクトに共感する企業（京都市内の企業等）、研究機関
- ※ 連携先は検討中

（参考）SDG企業戦略フォーラム

企業の経営層、戦略部門におけるSDGsの浸透を通じた、企業の長期的・持続的成長への寄与と持続可能な社会の実現への貢献を目的として、2017年10月に立ち上げ。企業約20社で構成。座長は国連大学の沖大幹上級副学長。